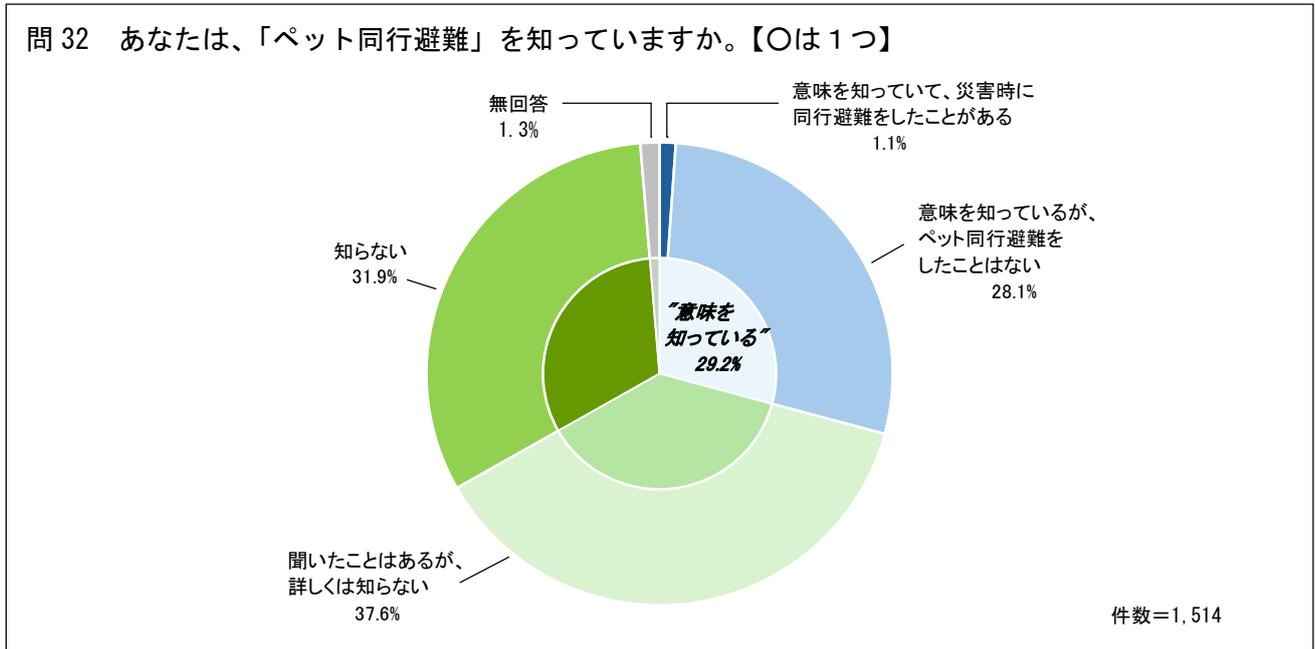


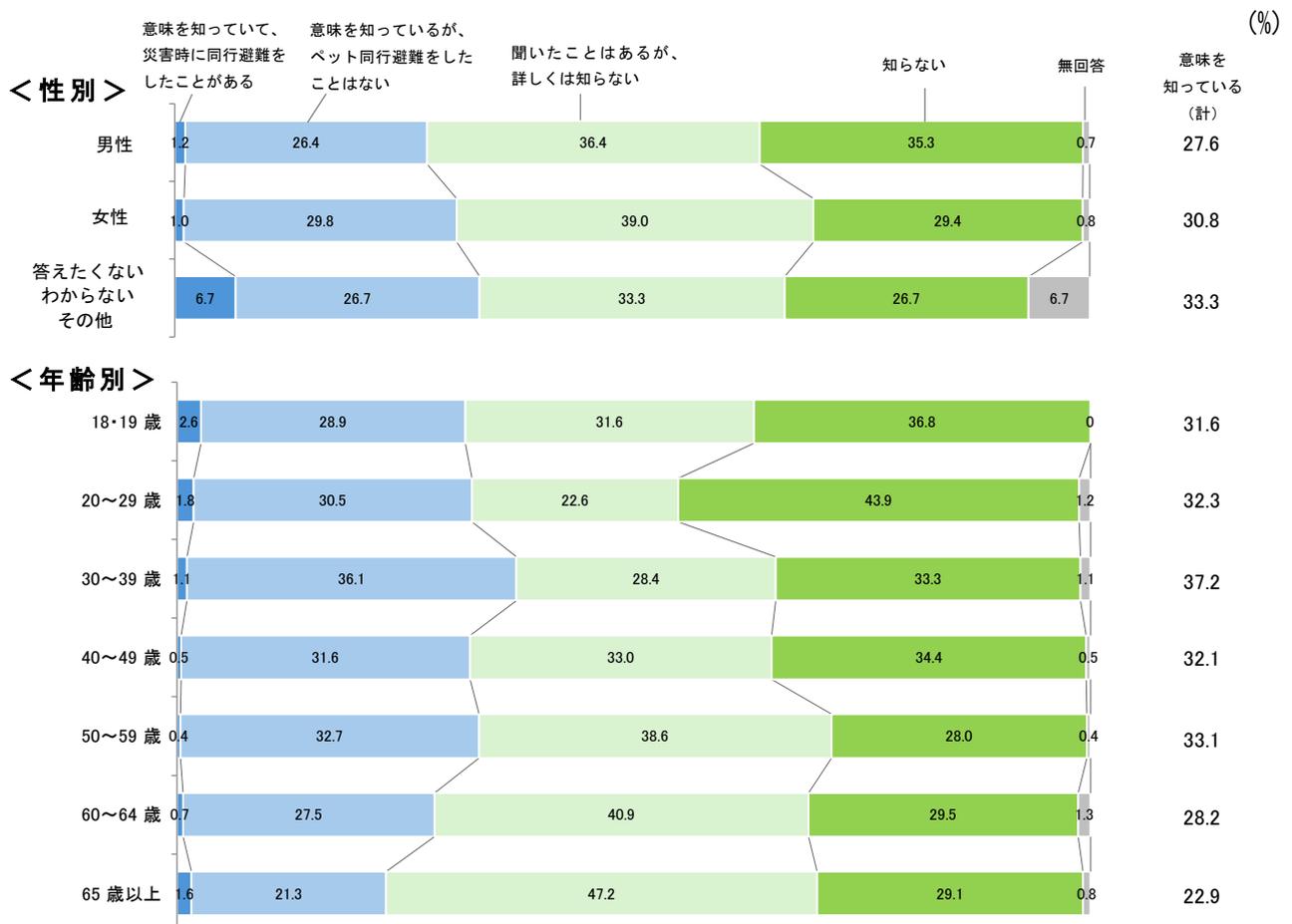
## 7 「ペット同行避難」について

### (1) 「ペット同行避難」の認知度及び実績

“意味を知っている”が29.2%

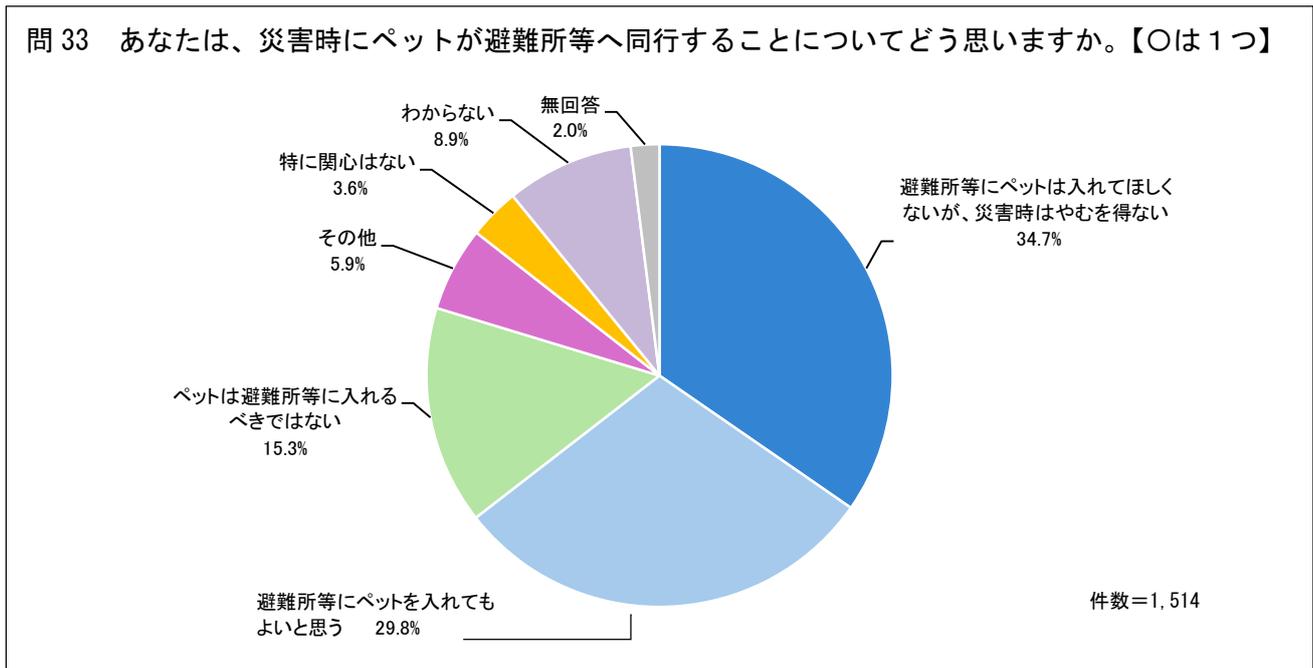


「ペット同行避難」の認知度及び実績について、「意味を知っていて、災害時に同行避難をしたことがある」(1.1%)と「意味を知っているが、ペット同行避難をしたことはない」(28.1%)を合わせた“意味を知っている”と答えた人の割合が29.2%となっている。

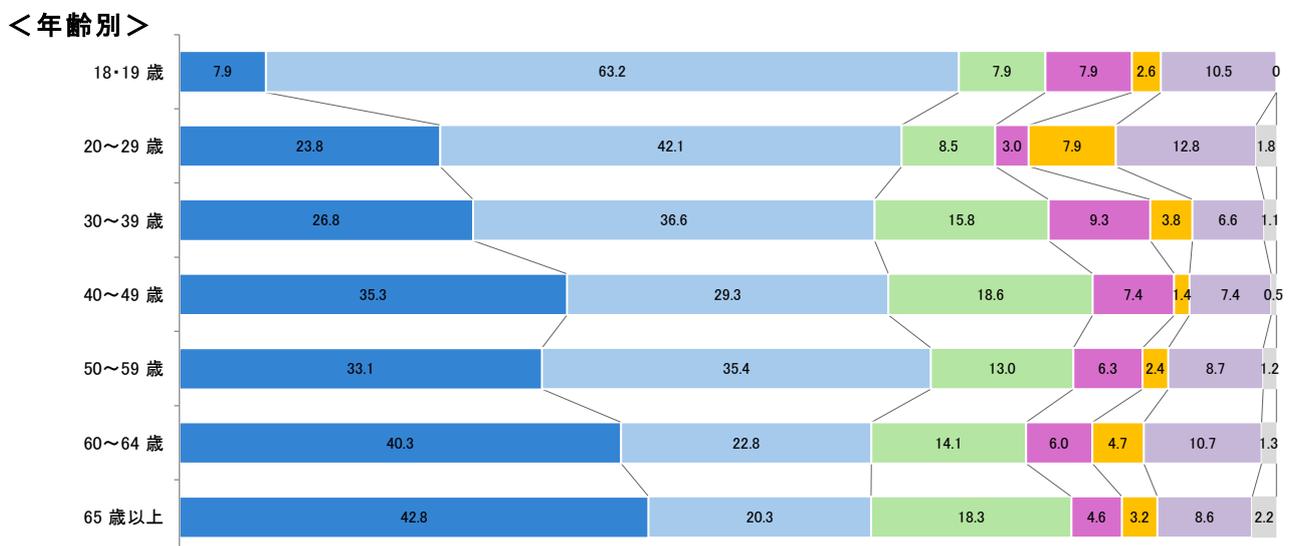
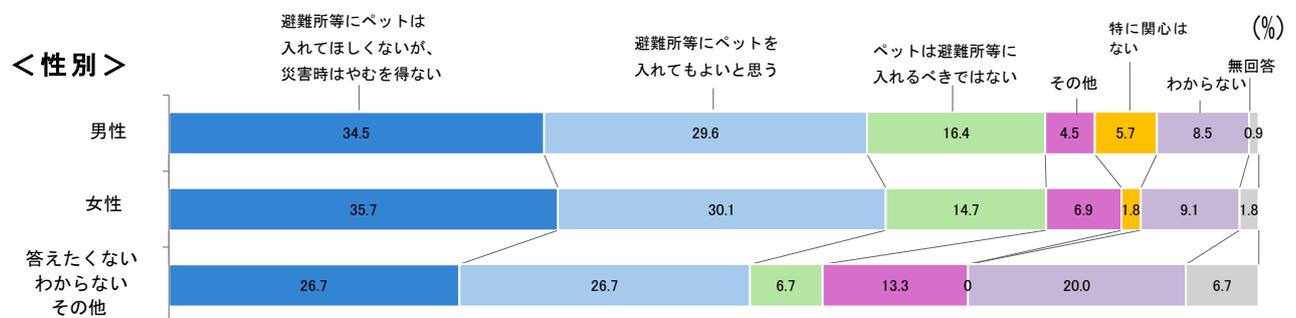


(2) 「ペット同行避難」に対する賛否

「避難所等にペットは入れてほしくないが、災害時はやむを得ない」が34.7%



「ペット同行避難」に対する賛否について、「避難所等にペットは入れてほしくないが、災害時はやむを得ない」と答えた人の割合が34.7%と最も高く、続いて「避難所等にペットを入れてもよいと思う」(29.8%)、「ペットは避難所等に入れるべきではない」(15.3%)の順となっている。

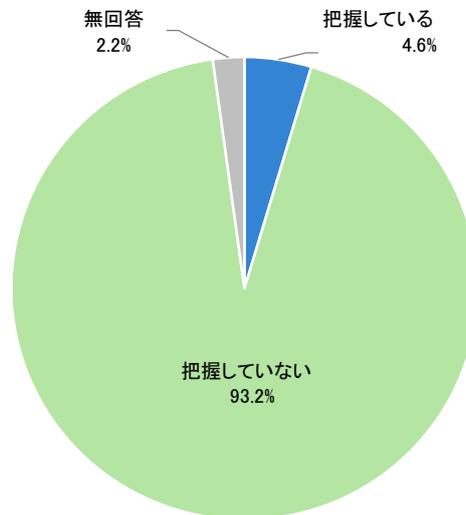


(3) 「ペット同行避難」の可否の把握

「把握していない」が93.2%

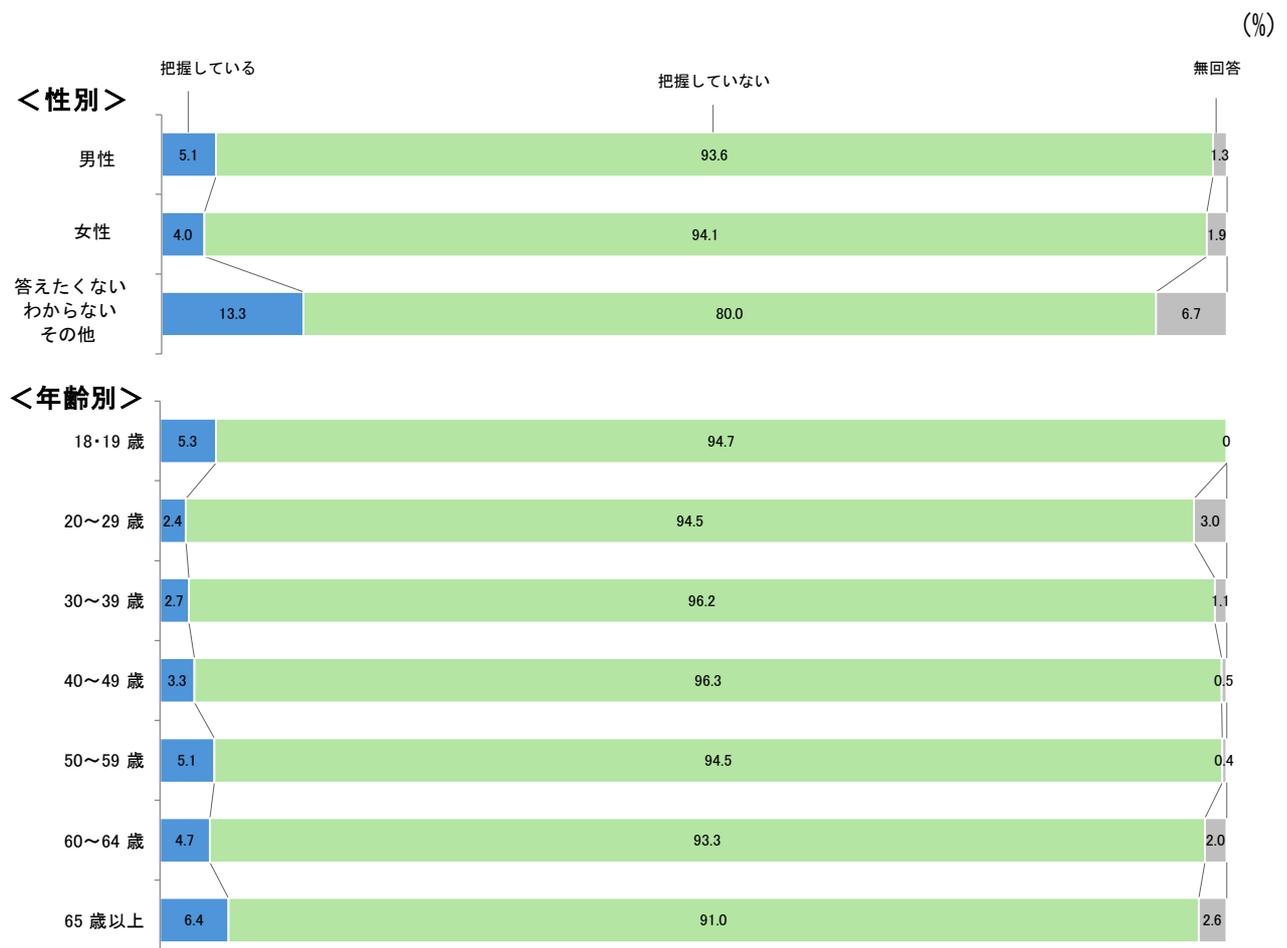
問 34 あなたが避難する避難所等において、ペット同行避難ができるか把握していますか。

【〇は1つ】



「ペット同行避難」の可否について、「把握していない」と答えた人の割合は93.2%となっている。

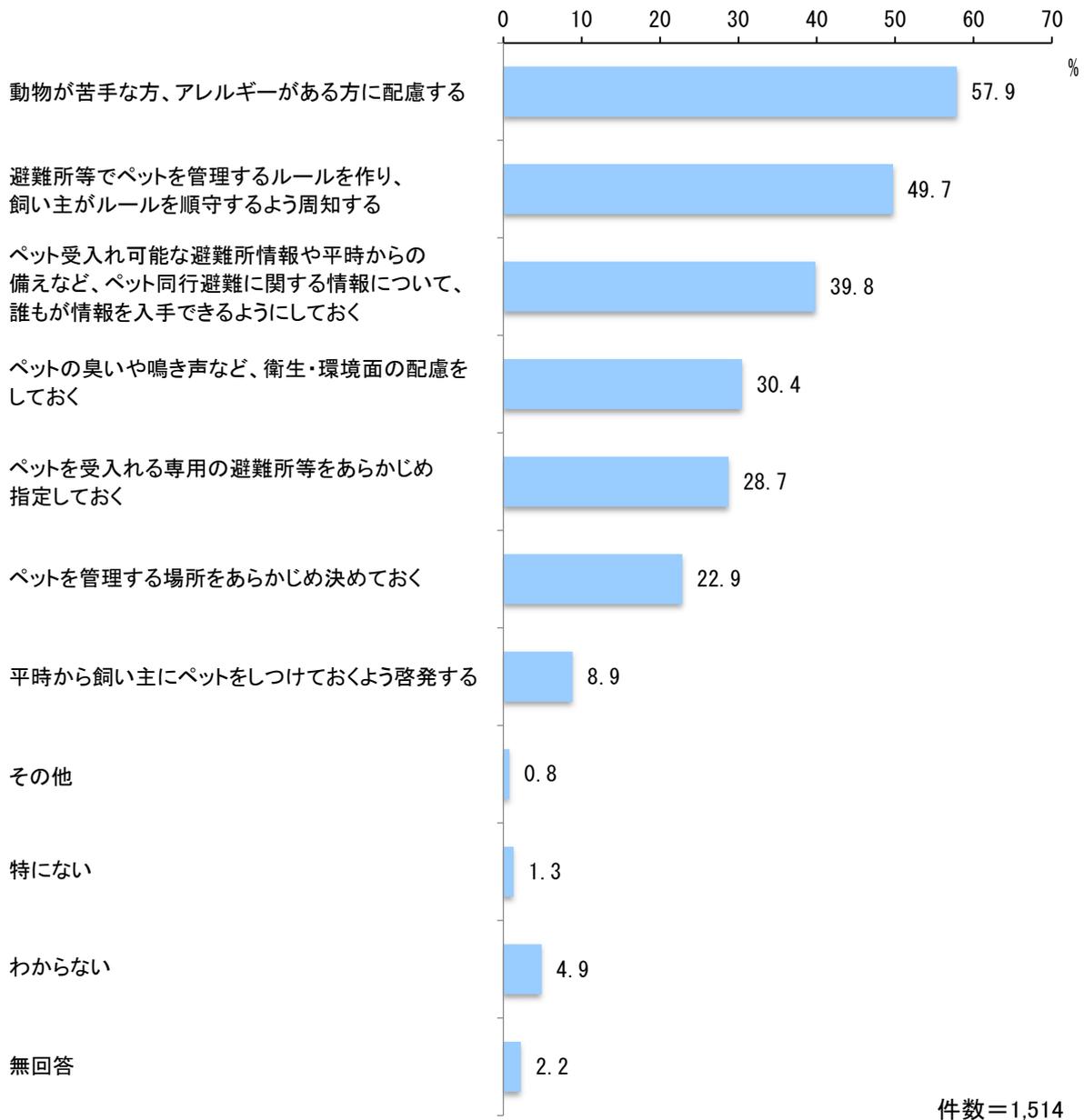
一方で、「把握している」と答えた人の割合は4.6%となっている。



(4) 「ペット同行避難」を進める上で自治体が準備すべきこと

「動物が苦手な方、アレルギーがある方に配慮する」が57.9%

問 35 避難所等のペット受入れ体制整備を進める上で、自治体として特にどのような準備が必要だと思いますか。【〇は3つまで】



「ペット同行避難」を進める上で自治体が準備すべきことについて、「動物が苦手な方、アレルギーがある方に配慮する」と答えた人の割合が57.9%と最も高く、続いて「避難所等でペットを管理するルールを作り、飼い主がルールを順守するよう周知する」(49.7%)、「ペット受入れ可能な避難所情報や平時からの備えなど、ペット同行避難に関する情報について、誰もが情報を入手できるようにしておく」(39.8%)の順となっている。

動物が苦手な方、アレルギーがある方に配慮する

避難所等でペットを管理するルールを作り、飼い主がルールを順守するよう周知する

ペット受入れ可能な避難所情報や平時からの備えなど、ペット同行避難に関する情報について、誰もが情報を入手できるようにしておく

### < 性別 >

男 性

54.9

49.5

36.1

女 性

61.5

50.8

43.8

答えたくない  
わからない その他

46.7

26.7

33.3

### < 年齢別 >

18・19 歳

81.6

28.9

39.5

20～29 歳

54.9

47.0

39.6

30～39 歳

65.0

53.0

39.3

40～49 歳

62.8

48.4

41.4

50～59 歳

56.7

54.7

42.9

60～64 歳

55.0

48.3

36.9

65 歳以上

55.0

50.2

39.4

ペットの臭いや鳴き声など、衛生・環境面の配慮をしておく

ペットを受入れる専用の避難所等をあらかじめ指定しておく

ペットを管理する場所をあらかじめ決めておく

### < 性別 >

男 性

34.5

23.8

22.8

女 性

27.3

33.0

23.6

答えたくない  
わからない その他

33.3

40.0

0

### < 年齢別 >

18・19 歳

44.7

31.6

15.8

20～29 歳

32.3

23.8

22.6

30～39 歳

33.9

21.3

24.0

40～49 歳

41.4

27.9

20.5

50～59 歳

33.5

31.1

19.7

60～64 歳

20.8

34.9

26.2

65 歳以上

24.5

30.7

25.3

(5) 「ペット同行避難」をする上で受けたい支援

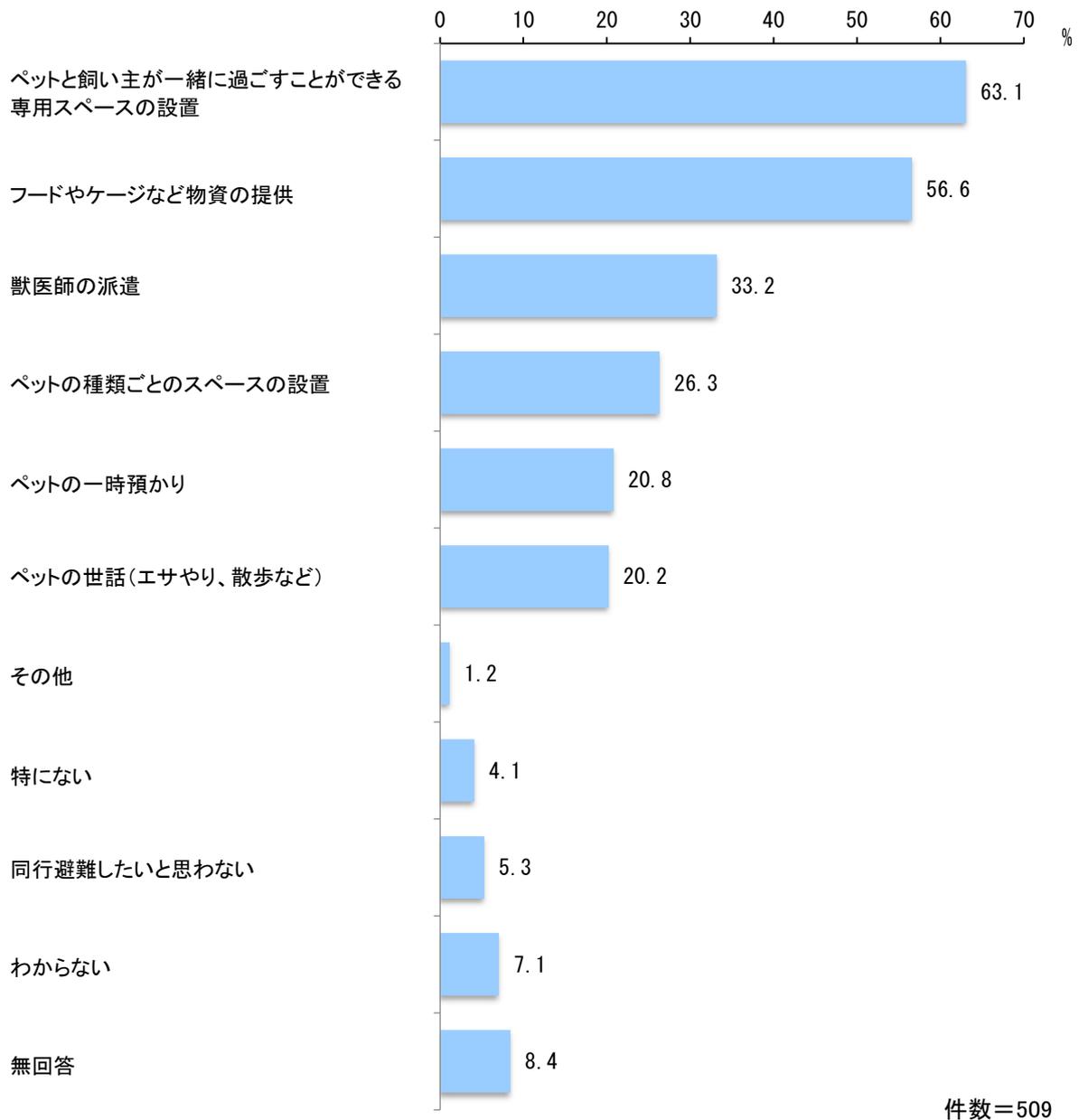
「ペットと飼い主と一緒に過ごすことができる専用スペースの設置」が 63.1%

問 36 《ペットを飼っている方※にお聞きします。》

あなたは、ペット受入れ可能な避難所等で、特にどのような支援を受けたいですか。

【〇は3つまで】

※問 28 で「1」～「6」と答えた方



「ペット同行避難」をする上で受けたい支援について、「ペットと飼い主と一緒に過ごすことができる専用スペースの設置」と答えた人の割合が 63.1%と最も高く、続いて「フードやケージなど物資の提供」(56.6%)、「獣医師の派遣」(33.2%)の順となっている。

(%)

ペットと飼い主が一緒に  
過ごすことができる  
専用スペースの設置

フードやケージなど物資の提供

獣医師の派遣

< 性別 >

男	性	58.5	55.4	29.5
女	性	66.3	57.2	35.9
答えたくない わからない その他		71.4	71.4	42.9

< 年齢別 >

18・19 歳	66.7	72.2	33.3
20～29 歳	73.1	67.2	34.3
30～39 歳	59.4	64.1	39.1
40～49 歳	62.3	62.3	37.7
50～59 歳	70.0	61.0	32.0
60～64 歳	59.2	53.1	28.6
65 歳以上	56.7	42.7	30.7

ペットの種類ごとの  
スペースの設置

ペットの一時預かり

ペットの世話  
(エサやり、散歩など)

< 性別 >

男	性	26.8	20.5	19.2
女	性	25.7	21.4	21.4
答えたくない わからない その他		42.9	14.3	0

< 年齢別 >

18・19 歳	33.3	0	16.7
20～29 歳	28.4	11.9	23.9
30～39 歳	28.1	18.8	15.6
40～49 歳	29.5	24.6	21.3
50～59 歳	24.0	25.0	15.0
60～64 歳	28.6	18.4	20.4
65 歳以上	23.3	24.7	24.0